

No	施策名	事務事業の目的	H29決算額(円)	事務事業評価					事務事業の現状・課題	平成30年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	令和元年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)
	事務事業コード		内 直接事業費	1	担当部課名	内 人件費	2	評価責任者氏名			
	事務事業名		H30決算額(円)	3	妥当性評価		4	有効性評価		5	効率性評価
1	農業の振興	農業経営基盤強化促進法に基づき農用地の利用権設定等の農用地利用集積計画を策定し、農業の担い手育成及び農用地の有効利用を図る。担い手への農地集積・集約化の推進、遊休農地の発生防止・解消、農地中間管理機構との連携、新たに農業を営もうとする者の参入の促進等による農地利用の効率化を図る。	14,342,109	事務事業評価					農業経営基盤強化促進法に基づき、農用地利用集積計画(農地の売買・賃借)を策定し、農業の担い手育成及び農用地の有効利用を図っている。また、農地法に基づく1回の農地利用状況調査を実施し、遊休農地の把握及び所有者の意向を確認している。遊休農地が増加傾向にあるため、遊休農地の解消が課題である。	農業委員・農地利用最適化推進委員連携会議を設置、農地の出し手・受け手の情報の把握、有効利用、担い手への集積を図るために、H29年度に実施した農地の利用実態調査の結果を情報提供した。また、各地区における問題・課題についても共有し、委員相互の連携を強化した。	農業委員・農地利用最適化推進委員の更なる連携強化、関係部署との情報共有を図り、引続き農地流動化に関する制度の周知活動を行うとともに、荒廃農地・荒廃施設の再生支援を行う。また、新規就農者等の農地取得要件を緩和し、担い手の育成・確保を図る。
	30101020		3,120,728	1	農業委員会事務局						
	農地利用最適化推進事業		11,221,381	2	高橋 知子						
	15,522,716		3	高い							
	2,946,728		4	普通							
12,575,988	5	普通									
2	農業の振興	農地の有効利用を推進し、耕作放棄地の予防と解消、多様な担い手の育成、市民の農業への関心を高める企画の立案・運営等を総合的かつ計画的に進める拠点づくりを目指す。	38,610,050	事務事業評価					・農地・園芸施設バンク事業における農地の仲介実績はほぼ横ばいで推移しているが、園芸施設は早期のバンク登録を促進する必要がある。 ・新規就農支援業務は、体制を整備し、県普及課と連携し相談対応、制度活用による就農に至るまでの継続支援を実施している。	新規就農希望者の技術習得を目的に、農家受入技術研修制度を設けた。(受入登録14農家) *受入実績は1件であったが、途中で中止となる結果となった。	・農地・園芸施設バンク事業は、農業委員会活動との連携を強化し継続的に推進する。 ・新規就農支援業務は、市外、県外からも誘致する活動に取り組む。また受入体制の整備を進める。 ・耕作放棄地再生利用に対する支援策(国H30終了)を検討する。
	30101030		4,154,069	1	産業振興部 営農支援課						
	営農支援課管理運営事業		34,455,981	2	鈴木 信宏						
	24,492,552		3	高い							
	4,423,433		4	普通							
20,069,119	5	普通									
3	農業の振興	地域における農地・水・環境の良好な保全とその質的向上を図ることを目的に、地域ぐるみで行う草刈、浚渫等施設の維持管理を行う活動組織に対して農地維持・資源向上(共同活動・施設の長寿命化)活動を支援する。	204,944,754	事務事業評価					活動組織による農道、水路等の草刈、泥上げ等の実施により、農業用施設の維持管理を支援している。活動組織が複雑な制度を理解し、適正な活動をする必要がある。また平成27年度から多面法の施行に伴い、事業計画の認定及び活動の実施状況確認等の市の役割が増大し、19組織の活動把握が困難な状況が出ている。	活動組織に対して、各地元において説明会を開催し、事業内容の説明や、事務的指導を行うなど業務の適正化を図った。	平成31年度～令和5年度の新5カ年計画に基づき、今後も円滑に事業を実施できるように、各活動組織に対し、年1回以上の説明会や勉強会を行うなど、適切な指導を行っていく必要がある。
	30101040		193,456,913	1	産業振興部 農政課						
	多面的機能支払事業		11,487,841	2	河邊 俊和						
	232,790,037		3	高い							
	220,703,099		4	高い							
12,086,938	5	高い									
4	農業の振興	農道舗装や排水路、用水路整備、区画拡大を行い、農業生産性や営農利益の向上を図るために土地改良事業を支援する。	237,258	事務事業評価					和歌山県で行っている農地中間管理機構連関営農土地改良事業(原営経営体育成基盤整備事業)に対して、事業体である愛知県、地元役員、担い手、耕作者等と今後の事業スケジュール等の調整を行った。	改善の効果を	高い
	30102010		60,000	1	産業振興部 農政課						
	農地整備促進事業		177,258	2	河邊 俊和						
	9,939,960		3	高い							
	6,995,144		4	高い							
2,944,816	5	高い									
5	農業の振興	堤防決壊時に、下流農地だけでなく民家等にも甚大な被害が予想されるため、県営土地改良事業により堤体等の改修を行い農業経営と民生の安定を図る。		事務事業評価					県営事業で行われるため池整備の事業に対して、地元等と調整し、事業の円滑化を図る必要がある。	老朽ため池等整備事業(大正池)の実施設計を行った。	老朽ため池等整備事業、防災ダム事業の整備を計画的に行う。また農業用ため池管理保全法の成立に伴い、防災重点ため池の再選定を行い適正管理、防災対策の強化を図る。
	30102030			1	産業振興部 農政課						
	ため池等整備促進事業			2	河邊 俊和						
	4,819,798		3	高い							
	2,549,836		4	高い							
2,269,962	5	高い									
6	農業の振興	地区内の開発による流出量の増大や排水機場の老朽化に伴う排水能力の低下によるたん水被害を防止するため、排水機場の改築を行い、被害を未然に防ぐたん水防除事業を支援する。	30,259,990	事務事業評価					県営事業で整備する排水機場等の改修を行うにあたり、地元等と調整し、事業の円滑化を図った。	改善の効果を	普通
	30102040		25,745,287	1	産業振興部 農政課						
	たん水防除促進事業(30102040,30102030)		4,514,703	2	河邊 俊和						
	52,581,243		3	高い							
	50,249,931		4	高い							
2,331,312	5	高い									
7	農業の振興	農業の生産性の向上、災害防止及び国土の保全を図るため、道路、排水路、その他の土地改良施設の整備を行う。また、土地改良区が事業主体の単県土地改良事業、単独土地改良事業の支援する。	89,858,902	事務事業評価					土地改良区が計画する土地改良施設の整備について、施設の緊急性、有効性及び効率性を考慮して整備対象施設を選定する必要がある。	緊急性及び必要性を考慮し、六連第1地区揚水機補修工事などの土地改良施設の整備事業を支援した。	緊急性及び必要性を考慮しながら、土地改良区が主体の施設整備を支援する。
	30102060		83,161,820	1	産業振興部 農政課						
	土地改良施設整備事業(30102010,30102130)		6,697,082	2	河邊 俊和						
	46,337,165		3	高い							
	41,836,872		4	高い							
4,500,293	5	高い									

No	施策名	事務事業の目的	H29決算額(円)	事務事業評価					事務事業の現状・課題	平成30年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	令和元年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)
	事務事業コード		内 直接事業費	1	担当部課名						
	事務事業名		H30決算額(円)	2	評価責任者氏名						
			内 直接事業費	3	妥当性評価						
			内 人件費	4	有効性評価						
			内 人件費	5	効率性評価						
8	農業の振興	土地改良施設の適正管理を行うとともに、小規模災害等に適応するため、土地改良施設の維持管理を行う。	6,955,842	事務事業評価					土地改良施設の維持を目的とした施設の改修・修繕に限られた予算で効果的に実施する必要がある。	土地改良施設の維持管理に必要な補修等を行い、施設の適切な管理を実施した。	土地改良施設の機能が最大限発揮されるよう施設維持管理に努める。
	30102090		1,788,480	1	産業振興部 農政課						
	土地改良施設維持事業(30102090,3010210,30102130)		5,167,362	2	河邊 俊和						
			3,759,768	3	高い						
			581,386	4	高い						
		3,178,382	5	高い							
									改善の効果	高い	
9	農業の振興	たん水被害を防止し、農業経営及び生活の安定を図るため、降雨時の排水機の運転に支障をきたさないように、排水機の定期的な保守点検及び維持管理を行う。また、老朽化した施設については、安定した運転ができるように、機器のオーバーホール及び交換等を行う。	32,241,284	事務事業評価					排水機場の機能を適正に維持し、施設の長寿命化を図るため、計画的にオーバーホール等を実施する必要がある。	緊急性を考慮しながら計画的な改修を実施した。	愛知県土地改良事業団体連合会が行う土地改良施設維持管理適正化事業等により排水機場の計画的な改修に努める。
	30102100		26,865,410	1	産業振興部 農政課						
	排水機場等維持事業		5,375,874	2	河邊 俊和						
			41,979,744	3	高い						
			35,760,434	4	高い						
		6,219,310	5	高い							
									改善の効果	高い	
10	農業の振興	土地改良施設の適正管理を図る。また、小規模災害等に適応することを目的として、土地改良施設の維持管理を行う。	929,993	事務事業評価					農政課と連携し、土地改良施設の適正な維持管理、樋門等の操作方法の確認、指導等が必要である。	樋門等の操作方法の確認、指導を行うことで警報発令等の緊急時に対応することができた。	自治会等管理委託者に対し、樋門等操作方法の指導を強化し、緊急時における適切な対応を図る。
	30102140		417,800	1	渥美支所 地域課						
	土地改良施設維持事業(渥美支所)		512,193	2	前川 博久						
			845,378	3	普通						
			437,461	4	普通						
		407,917	5	普通							
									改善の効果	普通	
11	農業の振興	たん水被害を防止し、農業経営及び生活の安定を図るため、排水機の降雨時の運転に支障をきたさないように、排水機の定期的な保守点検及び維持管理を行う。また、老朽化した施設については、安定した運転ができるように、機器の修繕及び交換等を行う。	39,705,261	事務事業評価					適正に機能を維持し延命するため、定期的な保守点検や機器の修繕が必要である。	保守点検や機器の修繕を実施したことにより、施設の機能を維持し、農地等へのたん水被害が防止できた。	定期的に保守点検や機器の修繕を実施し、機場の適正な機能維持、長寿命化を図る。
	30102150		30,023,654	1	渥美支所 地域課						
	排水機場等維持事業(渥美支所)		9,681,607	2	前川 博久						
			79,956,730	3	高い						
			72,606,196	4	高い						
		7,350,534	5	高い							
									改善の効果	普通	
12	農業の振興	たはら食育推進計画に基づき、市民、市や関係団体がそれぞれ主体となって様々な取組を行い、食育の普及・啓発を図る。	6,892,070	事務事業評価					市民一人ひとりの健全な食生活を実現するために、「体」「心」「環境」の三つの視点に沿った食育を推進している。	食育講演会の開催や、保育園を対象とした食育講座を開催し、市民へ食事の大切さを啓発した。また、食育推進計画に基づき、各関係者が食育活動に取り組んだことで、健全な食生活を推進することができた。	市民等が実施する食育活動を支援するとともに、食育に関する情報提供に取り組み、市民の食育への理解を促進する。
	30103010		1,249,486	1	産業振興部 農政課						
	食育推進事業		5,642,584	2	河邊 俊和						
			5,581,913	3	普通						
			962,051	4	普通						
		4,619,862	5	普通							
									改善の効果	普通	
13	農業の振興	農業公園として魅力ある施設を目指すとともに来園者の安全確保を図る。また、都市と農村の交流の場や地元農畜産物の振興の場としての活用を図る。	83,807,538	事務事業評価					施設の老朽化が進み、修繕・改修が必要な箇所がある。マーケット等の利便性向上や来園者の安全対策とともに、魅力ある公園づくりを行う必要がある。	空調機器の更新、安全対策として駐車場階段への手摺等設置を行った。	新たな魅力づくりを行うとともに、施設の長寿命化とバリアフリー化等の改修を行う。
	30103020		34,100,112	1	産業振興部 農業公園管理事務所						
	芦ヶ池農業公園運営事業		49,707,426	2	小谷 生典						
			95,830,595	3	高い						
			51,614,325	4	高い						
		44,216,270	5	普通							
									改善の効果	普通	
14	農業の振興	イベントの実施やPR活動により、市民の憩いの場としての定着化や観光施設としての集客向上を図る。また、各種事業のイベント会場として活用を図る。	18,823,718	事務事業評価					ラジオやホームページ、ブログなどでPRを行っている。チューリップフェアや水遊び広場、収穫体験など、多くのピーターを始め来園者に楽しんでいただいている。今後もより一層のイベントの充実や効果的な情報発信を行う必要がある。	連携事業として豊橋市子ども未来館ここにこ、豊川市赤塚山公園ぎよぎよランドで出張工作教室を開催するなど、連携してPRを行った。赤塚山公園とは動物飼育の意見交換なども行った。	ホームページのスマホ対応やインスタグラムでの情報発信を行う。また、各種教室やイベントを充実し、新たな魅力づくりを行う。
	30103030		5,796,156	1	産業振興部 農業公園管理事務所						
	芦ヶ池農業公園PR事業		13,027,562	2	小谷 生典						
			20,018,047	3	普通						
			8,244,082	4	高い						
		11,773,965	5	普通							
									改善の効果	普通	

No	施策名	事務事業の目的	H29決算額(円)	事務事業評価					事務事業の現状・課題	平成30年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	令和元年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)		
	事務事業コード		内 直接事業費	1	担当部課名								
	事務事業名		H30決算額(円)	2	評価責任者氏名								
			内 直接事業費	3	妥当性評価								
			内 人件費	4	有効性評価								
			内 人件費	5	効率性評価								
15	農業の振興	地域農業の活性化を図るため各種補助事業を実施するとともに、国内外への販路拡大、産地競争力の強化、地域農産物の普及啓発、先進技術の導入などに関する事業を実施することで地域農業の発展に寄与する。	282,592,723	事務事業評価					産地パワーアップ事業などの国庫補助事業により地域農業の基盤強化を図った。また、JAや関係団体と連携し、国内外において花や野菜等の消費拡大プロモーションを実施した。	国庫補助を活用し、栽培施設の整備や機械の導入を行うことで経営基盤の強化を図ることができた。また、マレーシアなど海外への農産物輸出への取り組みを進めた。	国庫補助の活用による経営基盤の強化を支援するとともに、国内需要に対応しつつ、販路拡大のため海外への農産物輸出に取り組む。		
	30104010		237,423,988	1	産業振興部 農政課								
			45,168,735	2	河邊 俊和								
	農業経営活性化事業		196,106,510	3	高い								
			145,743,896	4	高い								
		50,362,614	5	普通									
16	農業の振興	国の米政策に基づき、田原市地域農業再生協議会を通じて主食用米の生産数量目標の配分や情報提供等を行い、米の需給及び価格の安定と水田の有効利用を図る。	9,468,032	事務事業評価					主食用米の需給バランスを保つため、飼料用米等の栽培の取組を支援するとともに、「水田フル活用ビジョン」に基づく地域振興作物等の生産を支援する事で食料自給率の向上を図っている。	生産組合長を通じて制度の周知を図るとともに、制度加入の受付会を開催し、主食用米以外の作物の栽培を推進した。	主食用米の需給バランスを保ちつつ、食料自給率の向上を図る。		
	30104020		2,958,000	1	産業振興部 農政課								
			6,510,032	2	河邊 俊和								
	経営所得安定対策推進事業		7,463,086	3	高い								
			2,573,000	4	高い								
		4,890,086	5	普通									
17	農業の振興	畜産の伝染病は、発生農家はもとより産地として大きなダメージに繋がる。家畜の法定伝染病等の自衛防疫を促進するとともに、良質な畜産物を生産し、家畜飼養農家経営の安定と健全な発展を図る。	15,125,171	事務事業評価					伝染病は一度発生すると容易に他へ感染してしまうことから、市内畜産農家が同じ危機意識を持って防疫対策に一丸となって取り組む必要がある。畜産農家によって意識や対応に差異があるため、より高い防疫意識の高揚を図る必要がある。	家畜伝染病予防のため、ワクチンや防疫資材購入補助を実施した。田原家畜防疫対策協議会の活動を支援し、研修会開催や防疫ニュースの発行などを通じて農家に防疫の重要性の啓発を図った。また、豚コレラのまん延防止対策を講じた。	伝染病予防は畜産農家の自己防疫が要となるため、田原市家畜防疫対策協議会を支援し、農家の防疫意識の高揚を図る。平成30年9月に国内(岐阜)で、H31年2月には本市内で豚コレラが発生したことにより、これまで以上に伝染病のまん延防止対策、防疫強化を図る。		
	30104030		9,249,509	1	産業振興部 農政課								
			5,875,662	2	河邊 俊和								
	家畜伝染病予防支援事業		19,827,259	3	高い								
			8,302,485	4	高い								
		11,524,774	5	普通									
18	農業の振興	農業者の老後生活の安定及び福祉の向上と農業者の確保に資することを目的とし、農業者年金の加入推進を図る。	3,495,016	事務事業評価					農業者の老後のために、農業者年金の給付に関する諸届受付を行い、老後の生活の安定及び福祉の向上を図っている。また、加入者においては、農業の担い手が確保され、農業者の生涯所得の充実につながっている。多くの加入者を確保するために、制度の周知徹底を図る必要がある。	農業委員会だよりへPR記事掲載、農業委員及び農協職員への研修会開催及び制度周知依頼、チラシ配布等の制度の周知を図った。	広報誌へのPR記事掲載、チラシ等配布、農業委員及び農協職員への研修会開催は継続して行い、制度についての理解を深める。また、多くの農業者に関心を持ってもらえるよう、農業者の集まる会議等で農業者年金制度の特徴や税制優遇等をPRし、農協、農業委員等と連携し加入推進を図る。		
	30104040		334,230	1	農業委員会事務局								
			3,160,786	2	高橋 知子								
	農業者年金推進事業		1,754,556	3	普通								
			149,115	4	普通								
		1,605,441	5	普通									
19	農業の振興	畜産業の持続的な振興と畜産農家の経営安定を図ることを目的に、畜産業に関係する諸問題の解決に取組み、地域と共存する畜産経営環境を整備する。	209,593,544	事務事業評価					畜産業は、施設整備、機械導入、素畜導入費等が高額であり農家に大きな負担となっている。本市の重要な産業である畜産業の安定経営を図る必要がある。	後継牛の確保、死亡牛の処理、酪農ヘルパー利用組合に対する補助を通じて、畜産農家の経営安定化を図った。また、畜産クラスター事業(国庫補助事業)の推進を図り、規模拡大に意欲的な農家を支援した。	畜産農家の安定的な経営を支援するため、市独自の補助事業を実施するとともに、国庫補助事業等を活用した経営基盤強化の取組を支援する。		
	30104050		201,304,420	1	産業振興部 農政課								
			8,289,124	2	河邊 俊和								
	畜産振興事業		801,655,766	3	高い								
			794,125,670	4	高い								
		7,530,096	5	高い									
20	農業の振興	農業者の高齢化が進む中、やる気のある担い手に対する支援を実施することで、人づくり及び連帯感の醸成を図るとともに、農業団体への指導及び助成により、地域農業の発展に寄与する。	7,974,456	事務事業評価					田原農業改良普及課やJAと連携して、田原市農業の中心となる担い手で組織する農業者団体への支援を行うことで、農業者間の情報共有や課題解決への取組を進めている。	新規就農者支援のため、ニューファーマーセミナーを開催した。また、農業者が組織する団体を支援することで、地域農業を支える人材の育成につながった。	田原農業改良普及課やJAとの緊密な連携により情報共有を図るとともに、担い手が自ら実施する課題解決への取り組みを継続して支援する。		
	30105010		2,101,800	1	産業振興部 営農支援課								
			5,872,656	2	鈴木 信宏								
	担い手支援事業		5,692,653	3	高い								
			2,044,780	4	普通								
		3,647,873	5	普通									
21	農業の振興	農業生産における化学肥料、農業資材、農薬等の使用による環境への影響を軽減し、環境保全と生産性の維持・向上との調和が可能な環境保全型農業を農業者、農業団体及び市が一体となって推進する。	52,784,218	事務事業評価					安心安全な農産物の供給は、日本一の農業の推進に欠かせないものであり、環境に配慮した生産者の取組を更に広げる必要がある。有害鳥獣による農作物被害の減少を図る必要がある。	農業や化学肥料に頼らない農業、使用済農業資材の適正処理等、農協等の活動へ補助金による支援を実施し、安心・安全な農作物の提供に寄与した。農作物被害の減少を図るため、有害鳥獣駆除を実施した。	環境に配慮した農業へのJA等の取り組みに対し、現行方法の検証と新たな支援策を模索し、効果的な支援を実施する。根絶が目標となっているイノシシについて、愛知県等関係機関と協力し捕獲を促進する。		
	30106020		46,135,008	1	産業振興部 農政課								
			6,649,210	2	河邊 俊和								
	環境保全型農業支援事業		67,073,360	3	高い								
			60,979,492	4	普通								
		6,093,868	5	普通									

No	施策名	事務事業の目的	H29決算額(円)	事務事業評価					事務事業の現状・課題	平成30年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	令和元年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)
	事務事業コード		内 直接事業費	1	担当部課名	内 人件費	2	評価責任者氏名			
	事務事業名		内 直接事業費	4	有効性評価	内 人件費	5	効率性評価			
22	農業の振興	畜産経営において、負担が大きい糞尿処理に対し施設改修等の支援措置を講ずること、糞尿処理の適正管理及び畜産農家の経営安定を促進し、畜産業の健全な振興を図る。	2,422,699	事務事業評価					畜産業に由来する環境問題に対応するため適切な糞尿処理等が必要であるが、畜産農家にとって設備投資は大きな負担となっている。	家畜排せつ物処理施設の改修等について補助金による支援を行い、環境問題の改善がされるときともに、農家負担の軽減が図られた。	家畜ふん尿処理施設の改修等への支援を継続実施し、環境問題(野積み、排水対策、臭気問題等)を未然に防ぐ。
	30106030		828,220	1	産業振興部 農政課	1,594,479	2	河邊 俊和			
	家畜糞尿処理支援事業		5,511,117	3	普通	2,113,000	4	普通			
			3,398,117	5	普通						
23	水産業の振興	水産物の安定供給を目指し、「獲る漁業」から「育てる漁業」への転換を図るため、漁業組合が実施する稚貝等放流事業を支援し、水産資源の増大を目指す。	11,781,015	事務事業評価					平成25年には大きく漁獲量が減少し、本市の産業や漁業者の生活に大きく影響が出た。「とる漁業」から、「育てる漁業」への転換を図り、継続的に稚貝等の放流を実施し、安定したアサリ等の漁獲を図る必要がある。	水産資源を確保するため魚類放流事業(ヒラメ、カサゴ等稚魚)を実施した。あさり稚貝採取地である六条潟で稚貝の繁殖が芳しくなかったため、事業を縮小し水産資源の確保を図った。	水産物の安定供給のため、栽培漁業の取組に対して支援するとともに、漁獲量の確保と商品価値の高い水産物の出荷を目指す。
	30201010		9,061,000	1	産業振興部 農政課	2,720,015	2	河邊 俊和			
	栽培漁業振興支援事業		2,289,307	3	高い	367,000	4	普通			
			1,922,307	5	普通						
24	水産業の振興	漁業者・漁業関係団体が漁業経営の活性化、漁場環境の改善を図るため「水産多面的機能発揮対策事業」に対し、国、県とともに支援し、漁場環境の改善を図り、漁業者の所得向上を目指す。	12,292,183	事務事業評価					漁業経営の活性化や漁場環境の改善を図る漁業者・漁業関係団体の取組に対し支援が必要となっている。	漁業者や関係団体の行う、耕うんや漁場清掃等の漁場環境保全活動を支援し、漁場の改善を図ることができた。また、漁業者や関係者の環境保全の意識向上を図ることができた。	継続的に漁業者等の活動を支援し、水産資源に対する干潟等の機能の改善及び保全を図る。また、清掃活動により、動植物の保護、環境保全意識の高揚を継続的に図る。
	30202010		5,951,213	1	産業振興部 農政課	6,340,970	2	河邊 俊和			
	漁業者・団体支援事業		15,496,933	3	高い	9,235,834	4	普通			
			6,261,099	5	普通						
25	水産業の振興	市が管理する姫島、宇津江、伊川津漁港施設の維持管理を適正に行う。	30,837,346	事務事業評価					利用者が安心して安全な使用ができる漁港を目指し、適正な維持管理が必要である。	指定管理による草刈、施設の清掃・巡視、漁船とプレジャーボート等に区分けを継続実施するとともに老朽化した伊川津漁港員の浜橋修繕、姫島漁港船揚場斜路修繕を行い、漁港施設の適正な維持管理を図った。	・利用者が安心して安全な使用ができる漁港を目指し、適正な維持管理を行う。 ・老朽化の進む漁港施設を適正な維持管理のため、保全工事を視野に入れた漁港施設の維持管理を行う。
	30203040		24,515,262	1	建設部 維持管理課	6,322,084	2	伊藤 敏和			
	漁港管理事業		35,978,275	3	高い	30,746,123	4	高い			
			5,232,152	5	普通						
26	工業の振興	企業誘致を図るため、企業の立地動向を把握するとともに、企業誘致にかかわる関係機関と連携し、国内外に本市企業用地情報を発信する。	2,836,154	事務事業評価					・将来性のある事業分野や技術革新を試みる企業等に対して、企業立地の専門機関等と連携し、企業用地等に関する情報発信を展開している。 ・革新的技術等に関する情報収集を行う等、他市と異なる誘致活動や誘致材料の補強が必要である。	・専門機関等と情報交換を行い、国内外に市内企業用地の情報発信を行うと共に、企業の新規立地情報の収集に努めた。 ・革新的技術の導入検討や協議を行い、本市のポテンシャルや取り組みについて国と情報共有することができた。	・引き続き新規企業の誘致と共に、企業団地の良好な環境形成に向けて取り組む。 ・他市と異なる誘致材料を検討し、新規企業の誘致に取り組む。
	30301010		640,120	1	企画部 企業立地推進室	2,196,034	2	山田 達也			
	立地戦略推進事業		2,518,977	3	高い	685,810	4	普通			
			1,833,167	5	高い						
27	工業の振興	本市の産業振興と地域活力を増進するため、臨海部に企業の誘致を図るとともに、東三河5市が連携した企業誘致の活動を行う。	22,087,495	事務事業評価					・新規の企業誘致に努める企業訪問や誘致イベント等を実施するが、東日本大震災以降、沿岸部の工場分譲地は依然として厳しい状況が続く中、沿岸部でも立地する企業等を求めて、地道な活動が必要である。	・誘致イベント等を実施し、新規企業との情報交換等に努めた。 ・工場立地法に定められた緑地面積率を緩和し、企業が初期投資し易い環境を整備。 ・東三河5市連携事業による誘致イベントを通じ、本市立地企業の情報を発信すると共に東三河地域のモノづくり情報を発信した。	・誘致イベント等を通じて、市内立地企業の情報と共に分譲地や港情報を発信し、新規企業の誘致等に努める。 ・ロボット技術やAI導入による生産性革命や働き方改革等を見据え、将来を見極めた企業誘致活動に取り組む。
	30301020		6,117,493	1	企画部 企業立地推進室	15,970,002	2	山田 達也			
	誘致活動事業		15,344,069	3	高い	4,649,039	4	普通			
			10,695,030	5	高い						
28	工業の振興	田原市企業立地奨励金交付要綱等に基づき、進出企業の初期及び拡張投資の支援を図り、本市への企業立地を促進する。また、臨海部に立地した企業で構成する田原臨海企業懇話会の活動支援を行う。	518,804,061	事務事業評価					・新規立地及び増設等を行う企業に対して、奨励金制度による支援が必要である。 ・田原臨海企業懇話会による幹線道路活動や企業防災力の強化を目的とした諸活動を支援し、立地企業の生産性向上に努める。	・企業立地奨励金により、継続的な立地支援を実施。 ・田原臨海企業懇話会の諸活動を支援し、企業活動における課題の抽出や解決に向けて取り組んだ。 ・田原臨海地区の企業の魅力を高校生に理解してもらったため雇用促進事業を実施。	・企業の新規立地や事業所拡張の動向等を確認し、引き続き、本市奨励金制度による立地支援を行う。 ・臨海部立地企業の生産性向上のため、幹線道路問題の議論を深め、道路や港湾インフラの改善に努めると共に、大規模災害に備え企業防災力の強化に努める。
	30301030		514,545,810	1	企画部 企業立地推進室	4,258,251	2	山田 達也			
	立地誘導・活動支援事業		256,714,290	3	高い	249,084,670	4	普通			
			7,629,620	5	高い						

No	施策名		H29決算額(円)	事務事業評価		事務事業の現状・課題	平成30年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	令和元年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)
	事務事業コード	事務事業の目的		1 担当部署	2 担当者氏名			
事務事業名		事務事業の目的	H30決算額(円)	3 妥当性評価	事務事業評価			
			4 有効性評価	5 効率性評価				
29	工業の振興	重要港湾三河港の整備・振興を図るため、国・県・関係団体への要望活動、振興PR事業の実施や自動車港湾としての特性を高める諸活動を行う。	9,212,570	事務事業評価		・新規荷主等の獲得に取り組むため、国内外に対して官民協働によるポートセールス活動を実施。 ・地域製品の販路拡大のため、渥美半島たはらブランド認定品を中心に、首都圏バイヤーによる研修会や商談会、首都圏外食フェアを実施し、事業者の育成と販路拡大を図った。	・貿易摩擦に伴うの新規枠組みや中古車の船便等による動向を把握し、コンテナ取扱量に資する新規荷主の獲得に努める。 ・田原公共埠頭の-10m整備に向けた具体的な事業を関連する企業と調整し、国や県と実現に向けた検討を深める。	
	30302010		2,333,250	1 企画部 企業立地推進室				
			6,879,320	2 山田 達也				
	三河港振興事業		10,694,151	3 高い				
			2,249,420	4 普通				
		8,444,731	5 普通					
30	商業の振興	商工業の振興を図るため、中小企業者が運転資金等を円滑に確保できるよう、愛知県と協同して市内13店舗の金融機関に資金を預託するとともに、融資を受けた際の利子補給を行う。また、6次産業化・農商工連携を積極的に推進することで、地域産業の活性化を図る。	108,753,569	事務事業評価		・中小企業を取り巻く経済環境は引き続き厳しいことから、中小企業者のセーフティネットの維持や、多面的な支援をする必要がある。 ・地域経済の持続性を高めるため、地域資源を活かした6次産業化等の新たな事業展開の取組や、地域製品のブランド化を促進していく必要がある。	・6次産業化・地産地消推進協議会を立ち上げ、市町村戦略を策定することで、JA・商工会・道の駅等と連携しながら地域の6次産業化・地産地消を推進する。 ・渥美半島たはらブランド認定制度の見直しや統一的な地域ブランドの確立により、地域製品のブランド力強化を図る。	
	30401010		90,663,143	1 産業振興部 商工観光課				
			18,090,426	2 青木 護				
	中小企業活性化支援事業		105,762,191	3 極めて高い				
			91,407,568	4 極めて高い				
		14,354,623	5 高い					
31	商業の振興	中心市街地の賑わい創出を図るため、田原市中心市街地活性化基本計画に記載の各種事業等を実施する。	19,292,811	事務事業評価		・駅周辺のハード事業は概ね完了した。今後は、まちなかに回遊を促すようにソフト事業を実施していく必要がある。	まちなか賑わい実行委員会が実施しているソフト事業により、参加商店等の賑わい創出に対する意識が高まっている。	
	30402010		12,861,686	1 都市整備部 街づくり推進課				
			6,431,125	2 小久保 智宏				
	中心市街地活性化推進事業		15,442,214	3 高い				
			10,788,148	4 高い				
		4,654,066	5 普通					
32	商業の振興	セントファアーレを適正に維持管理することで、訪れる利用客の利便を図る。		事務事業評価		・2階共用部分のバーゴラが、経年劣化や台風による倒壊の危険があったため、撤去した。 ・市管理部分センターコート天井の吊りワイヤーが断裂したため修繕を行った。 ・利用者の利便性や安全性を高めるため(株)あつまるタウン田原と綿密な情報共有や協議を行った。	・長期的な修繕計画を作成し、施設の長寿命化、修繕費等の平準化を図る。 ・施設運営している(株)あつまるタウン田原と連携し、利用者の利便性や安全性の向上を図る。	
	30402020			1 産業振興部 商工観光課				
				2 青木 護				
	セントファアーレ管理運営事業		27,522,722	3 高い				
			23,260,049	4 高い				
		4,262,673	5 普通					
33	商業の振興	市内中小企業者の経営の改善を図るため、その指導機関である田原市商工会及び渥美商工会に対して助成を行い、中小企業者の指導育成を行う。また、安全で快適な環境を保つとともに、中心市街地の活性化を図る目的を以って、街路灯の維持管理費や商店街の催事、共同宣伝への助成を行う。	58,489,374	事務事業評価		・小規模企業振興のため商工会の経営支援機能の向上が必要となっている。 ・現状では田原・渥美の2つの商工会、カード事業組合となっており、それぞれの活動に差異があることから、一体となった産業振興施策の立案等が必要となっている。	・統一された地域カードについて、行政ポイントを発行することで、カードの普及につながり、商店街への誘客を図った。 ・商工会の経営支援機能の向上を図るため、補助内容の見直しを行った。	
	30403010		51,832,492	1 産業振興部 商工観光課				
			6,656,882	2 青木 護				
	商業団体支援事業		61,357,874	3 極めて高い				
			55,203,400	4 高い				
		6,154,474	5 高い					
34	観光の振興	田原市内における観光事業を推進することで、国内外からの誘客を図る。また、地域間交流の拡大と広域観光の推進を図るため、愛知県観光協会、東三河広域観光協議会等に参画する。	49,447,057	事務事業評価		・GOGO三河湾協議会、鳥羽伊良湖観光交流事業など、近隣自治体との連携事業を実施し、広域観光を推進した。 ・観光体験博覧会「たはら巡り〜な」を初開催し、観光事業者だけでなく農家や商店なども参画し、観光メニューの造成を図る必要がある。 ・観光客受入れ体制づくりのため、観光事業に携わる人材育成を図る必要がある。	・令和2年度からの「第2次田原市観光基本計画」を策定し、戦略的な観光推進を図る。 ・渥美半島ツーリズムの構築を目指し、人材育成、観光推進ネットワークづくり及び地域資源を活かした滞在型観光プログラムの開発を行う。 ・広域連携を図り、新たな観光ルートの造成を図る。	
	30501010		23,691,470	1 産業振興部 商工観光課				
			25,755,587	2 青木 護				
	観光推進事業		47,866,931	3 極めて高い				
			30,681,740	4 極めて高い				
		17,185,191	5 高い					
35	観光の振興	道の駅(田原めつくんはうす、あかばねロコステーション、伊良湖クリスタルポルト)及び三河田原駅(交流ひろば)を適正に管理運営することで、田原に訪れる観光客の利便を図り、観光客の増加と地域の活性化につなげる。	31,403,196	事務事業評価		・観光客に対するイメージ・サービスの向上を図るため、施設及び機器の補修や更新を計画的に行う必要がある。 ・観光客及び市民に対する道の駅の役割等を見直し、新たな魅力付けを検討していく必要がある。	・効率的な管理のあり方について指定管理者制度の見直しを行った。	
	30502010		27,515,750	1 産業振興部 商工観光課				
			3,887,446	2 青木 護				
	観光情報サービスセンター運営事業		15,706,848	3 極めて高い				
			11,843,866	4 高い				
		3,862,982	5 高い					

No	施策名	事務事業の目的	H29決算額(円)	事務事業評価					事務事業の現状・課題	平成30年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	令和元年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)		
	事務事業コード		内 直接事業費	1	担当部課名								
	事務事業名		H30決算額(円)	2	評価責任者氏名								
			内 直接事業費	3	妥当性評価								
			内 人件費	4	有効性評価								
			内 人件費	5	効率性評価								
36	観光の振興	太平洋、三河湾が一望できる蔵王山展望台利用者の利便の向上を図るため、平成6年4月に建設した蔵王山展望台施設(鉄骨造4階建)、及び展望台周辺の園地等の適正な管理運営を実施する。	22,267,935	事務事業評価					<ul style="list-style-type: none"> ・施設・周辺環境の修繕・更新等を行い、田原市観光の導入部としての魅力の向上を図る必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第一駐車場の舗装改良、2階部分の床張替等を行い、展望台の維持管理向上を図った。 ・リニューアル後の映像機器等の保守点検等により適正な管理運営を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、施設・園地の適正な管理運営を行うとともに、施設リニューアル後に継続的な集客が続くよう、観光メニューの開発に取り組む。 		
	30502020		20,378,311	1	産業振興部 商工観光課								
			1,889,624	2	青木 護								
	蔵王山展望台運営事業		21,738,306	3	極めて高い								
			19,173,472	4	高い								
		2,564,834	5	普通									
37	観光の振興	環境対策のシンボルとして、平成13年に蔵王山展望台に整備した風力発電施設(定格出力300KW、想定発電量65万KWh)が正常に稼働するよう適正な維持管理を実施する。	15,727,311	事務事業評価					<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化に伴う機器の計画的な保守・更新を行い、風力発電施設の適正な管理運営を図る。 ・今年度に施設の耐用年数を迎えることから、施設の廃止も含め今後のあり方について方向性を定める必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・機械部品・電気部品等の点検・更新を実施し、年間稼働日数の拡大に努めた。 ・遠隔監視システムの更新を実施し適正管理に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発電施設の稼働年数の延伸を図るため、計画的な機器の更新に努める。 ・地元業者に保守業務を委託することで、管理費用の縮減を図る。 ・耐用年数経過後の施設の方向性について方針を決定する 		
	30502030		14,383,976	1	産業振興部 商工観光課								
			1,343,335	2	青木 護								
	蔵王山展望台風力発電運営事業		5,753,438	3	普通								
			4,155,378	4	普通								
		1,598,060	5	普通									
38	観光の振興	城下町文化の粋である山車・けんか凧を展示紹介する田原まつり会館を適正に管理運営することで、田原の伝統文化である田原祭り、田原凧のPRを図り、観光客の増加と地域の活性化につなげる。	6,518,286	事務事業評価					<ul style="list-style-type: none"> ・山車収蔵庫の大扉の建てつけの悪化や空調機器の老朽化など、施設の経年劣化に伴う計画的な改修が必要となっている。 ・施設の効果的なPRを実施し、利用客の増加を図る必要がある。 ・今後増加すると予想されるインバウンド対応を進める必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・台風で屋根瓦や破風が飛ぶという被害があり、修繕を行った。 ・訪日外国人利用者のため、館内パンフレットの英語版を作成した。 ・山車展示室の上部照明をLED化し、電気料の節減と明るさの向上を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大扉や空調機器等について計画的な改修を行う。 ・中心市街地活性化事業と連動し、観光コースを駅前でPRするなどまちなか観光の拡充を図る。 ・外国人旅行者に対する館内表示や動画資料等の多言語化を実施する。 		
	30502040		3,059,901	1	産業振興部 商工観光課								
			3,458,385	2	青木 護								
	田原まつり会館運営事業		9,556,654	3	高い								
			4,921,773	4	普通								
		4,634,881	5	普通									
39	観光の振興	サーファー、観光客等、太平洋ロングビーチ観光便益施設(管理棟、多目的トイレ1基、男子更衣室:トイレ5基(小3基・大2基)、温水シャワー3基、女子更衣室:トイレ4基、温水シャワー3基)利用者の利便を図るために適正な維持管理を実施する。	6,725,807	事務事業評価					<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理により施設の適正な維持管理を図っている。 ・シャワー等設備の老朽化がみられるため更新を行い利用者の利便性向上を図る必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者によって利用者目線に立った管理運営がなされたため、施設利用者アンケートでは好評価を得た。 ・施設の定期点検、清掃管理など適正な管理運営を行った。 ・敷地内砂撤去等を行い、施設の適正な維持管理を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の老朽化に伴う修繕対応や計画的な改修を行い、適正な管理運営に努める。 ・市内有数のサーフスポットとしてより魅力のある施設とするためハード面だけでなくソフト面を含めた検討が必要である。 ・台風等により敷地内に砂が入り、車両の通行に支障をきたすため、改善が必要である。 		
	30502050		4,486,916	1	産業振興部 商工観光課								
			2,238,891	2	青木 護								
	ロングビーチ管理棟管理事業		8,071,941	3	高い								
			5,290,251	4	普通								
		2,781,690	5	普通									
40	観光の振興	観光地の公衆便所、駐車場、園地等を適正に維持管理することで、観光客等の利便を図る。	29,989,087	事務事業評価					<ul style="list-style-type: none"> ・本市の観光イメージの向上のため、観光地の清掃や便益施設等の適正な管理を行う必要がある。 ・観光トイレは施設ごとの利用率に大きな差があるため、施設の集約化を図るとともに、利用率の高いトイレの高質化により、観光客の快適性の向上と施設管理の効率性の向上が必要となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光トイレ、駐車場等の清掃、草刈等を行い、観光客の利便性と快適性の向上に努めた。 ・県補助事業により、海水浴場への海岸漂着物の回収処理を行った。 ・利用の多い恋路ヶ浜と日出駐車場公衆便所の改修工事を行い、観光客の利便性の向上を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光トイレの修繕に随時対応すると共に、利用率の高い観光トイレに関しては洋式化や高質化を図る。 ・園地等は植栽木の定期的な剪定等により快適な環境の維持に努める。 ・案内看板等の設置を行い観光客の利便性の向上を図る。 		
	30502060		26,841,206	1	産業振興部 商工観光課								
			3,147,881	2	青木 護								
	観光地維持管理事業		31,224,633	3	高い								
			27,681,678	4	普通								
		3,542,955	5	普通									
41	観光の振興	田原市の観光魅力度の向上を図るため観光施設の整備拡充、修繕等を実施することにより、観光誘客及び観光客の利便を図る。	211,008,146	事務事業評価					<ul style="list-style-type: none"> ・本市を訪れた観光客の立ち寄り場所の拡大や滞留時間の延伸を図るため、観光施設の計画的な改修や整備を行い、本市観光の魅力を高める必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・あかばねロコステーションの利便性の向上、高質化のため施設改修及び駐車場整備工事を行った。 ・危険木伐倒処理及び枝払いを行い、観光客の利便性向上及び観光地魅力度の向上を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光基本計画を基に、温泉等の地域資源の活用など新たな観光資源の造成について検討する。 ・観光地の魅力向上のため、引き続き、観光地の施設の計画的な更新を図る。 ・観光客の利便性の向上のため、観光案内サインガイドラインを元に計画的な整備を行う。 		
	30502070		207,425,920	1	産業振興部 商工観光課								
			3,582,226	2	青木 護								
	観光施設整備事業		29,299,271	3	極めて高い								
			23,284,680	4	極めて高い								
		6,014,591	5	高い									
42	観光の振興	魅力ある観光まちづくりを推進するために渥美半島観光ビューローの支援を行い、官民協働による観光及びレクリエーションの活動の振興を図る。	57,387,771	事務事業評価					<ul style="list-style-type: none"> ・本市の観光振興を図るとともに観光ビューローの自律性・継続性を高めるため、組織や事業の方向性を定めていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プロパーの事務局長や職員を採用したことで、組織や業務内容の自律的な見直しが行われるようになった。 ・地域の事業者と連携したツアー造成を行い大都市圏のエージェントに催行を働きかけるなど、経済効果を意識した実践的な取り組みがなされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光ビューローの自主財源の確保、事業の見直し、法人化、事務局職員の採用など、組織強化に向けた取り組みを支援する。 		
	30503010		55,500,000	1	産業振興部 商工観光課								
			1,887,771	2	青木 護								
	観光団体活動支援事業		58,144,251	3	極めて高い								
			56,000,000	4	高い								
		2,144,251	5	普通									

No	施策名	事務事業の目的	H29決算額(円)	事務事業評価					事務事業の現状・課題	平成30年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	令和元年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)
	事務事業コード		内 直接事業費	1	担当部課名						
	事務事業名		内 人件費	2	評価責任者氏名						
			H30決算額(円)	3	妥当性評価						
			内 直接事業費	4	有効性評価						
内 人件費	5	効率性評価									
43	観光の振興	市民まつりを開催する原田市民まつり推進協議会の活動を支援することで、市民相互の融和と市民意識の高揚を図る。	12,608,286	事務事業評価					・運営方法を見直したことで、参加者の負担軽減につながっている。 ・企画提案型は、締め切りまでどんな企画が出てくるか不明であり、集客力が未知数である。	・会議数の見直しをしたことにより、参加者の負担を軽減することができた。 ・委託内容を見直し、経費を削減することができた。 ・研究会と実行委員会のあり方について見直したことにより、効率的な事業運営をすることができた。	・企画提案のより良い会場配置や、補助金の効率的な利用ができる事務局提案の検討が必要である。事務局提案については、JCや渥美青研との意見交換を活発にし、テーマに沿った形で市民の融和になるような企画を出していく。
	30503020		6,100,000	1	産業振興部 商工観光課						
	市民まつり支援事業		6,508,286	2	青木 護						
			12,108,471	3	高い						
			6,900,000	4	高い						
5,208,471	5	普通									
44	労働環境・消費生活の充実	市内に在住在勤する勤労者への資金の融資を円滑にし、生活及び福祉の向上を図るため、東海労働金庫豊橋支店に資金を預託するほか、勤労者の団体が実施する福祉事業への助成を行い、勤労者の健康の増進と福祉の向上を図る。	19,587,256	事務事業評価					・補助制度等は他市との均衡を図りながら実施している。	・引き続き、支援制度等の適正な運用に努めた。 ・補助制度の対象となる資金について検討し、利用者の利便性向上のため対象資金を追加したことにより新規融資額が伸びた。	・関係自治体とも調整を図りながら、補助制度の運用方法の見直し等に努める。 ・預託金については当面の動向を注視し、必要に応じ見直しを行う。
	30604010		18,585,000	1	産業振興部 商工観光課						
	勤労者支援推進事業		1,002,256	2	青木 護						
			19,696,328	3	高い						
			18,575,000	4	普通						
1,121,328	5	普通									
45	労働環境・消費生活の充実	原田市地域職業相談室において、求職者への求人情報の提供を行うほか、求人企業の求人申込の受付を行うことにより、求人求職業務窓口の充実を図る。	14,371,750	事務事業評価					・当地域は全国水準と比べ、比較的高い求人倍率で推移しており、一時期と比べると雇用環境は安定しつつある。 ・今後は、高齢者や女性など新たな働き手の開拓が課題である。	・地域資源を活かした新たな産業・雇用の創出を図るため、国の制度を活用した協議会の運営支援を行った。 ・保育園入園を控える子持ち女性の就職支援を県と共同で行った。	・当地域の主力産業である農水産業分野と観光分野の連携による雇用創出を図り、高齢者や女性、さらにはUJターンなどにも対応できる働く場の拡大に努める。 ・社会福祉協議会やシルバー人材センターなど他機関と連携しより多くの雇用創出を図る。
	30605010		4,568,553	1	産業振興部 商工観光課						
	雇用推進事業		9,803,197	2	青木 護						
			12,651,605	3	極めて高い						
			5,350,071	4	高い						
7,301,534	5	普通									
46	労働環境・消費生活の充実	地域住民の健全な暮らしや生活の向上、消費者問題意識を高め、消費者トラブルの防止を図る。また、金融広報活動及び消費者教育活動の促進を図る。	5,076,490	事務事業評価					・消費者相談業務は、広域連合への移行されているが、東三河地域内に専門的な知識を有する相談員が少ないため、相談体制の構築が課題となっている。 ・プライバシーなど相談者に配慮した消費生活センターのあり方を検討する必要がある。	・東三河地域全体に相談員が不足しているため、東三河広域連合において相談員の確保・育成が行われた。 ・商工観光課事務室を移転し、プライバシーの保護や相談者に配慮した消費生活センター相談室を確保した。	・高齢者、障害者、低年齢者等の判断力が不十分となった人を消費者被害から防ぐため、地域の協議会と連携して消費者安全確保地域協議会(見守りネットワーク)を構築し、活用していく。
	30606010		2,037,103	1	産業振興部 商工観光課						
	消費者支援推進事業		3,039,387	2	青木 護						
			5,213,866	3	極めて高い						
			3,088,025	4	極めて高い						
2,125,841	5	普通									